

小学校 高 学年< 5 - (2) >

学 年	5年	時 間	社会科「わたしたちの国土」 小単元「国土の地形の特色と人々の暮らし」	時 期	5月	時 数	1時間（45分） （第1 or 5時／全5時間）
目 標	日本の川の洪水の特徴を知り、安全に避難することができるようにする。						
資料・準備	ワークシート等、パソコン等、世界地図、地球儀、日本白地図、国土の立体地形図、地図帳						

第1時の場合を下記にあげたが鳥取県を学習後、第5時の場合も考えられる。

展開（第1時）

	学習活動と内容	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 前小単元の「世界の中の国土」の学習を想起し、地図帳を活用して、白地図に、山地・山脈、平野、河川の位置と名称を書き込む。	○日本国土の立体地形図を確かめながら、我が国の国土は、南北に長く、山がちで平野が少なく、川は急で短いことを見つけさせる。
展 開	2 外国の川と日本の川を比べて違いを見つけ、日本の国土の特徴を話しあう。 ○スライドで、洪水の特徴を比較して、水害の危険性を比べる。	○国土の様子と河川の特徴から、外国の川に比べ日本の川は短時間のうちに一気に増水することをとらえさせる。 ○4年「郷土を開く一用水路や川の改修等」の学習を思い起こさせる。 ○班で「外国の川と日本の川の洪水の特徴」について話し合わせ、洪水の被害に遭わないために気をつけることを、ワークシート等にまとめさせる。 外国 洪水になるまで数ヶ月かかる。 川の流れる速さがおそい。 日本 雨が降ると急に水量（深さ）が上がる。 川の流れる速さが速い。 ☆日本の洪水の特徴を捉え、被害に遭わないために注意することを考えることができる。
ま と め	3 国土の特徴や洪水の危険、身を守ることにについて意見を出し合い、まとめる。	○話しあったことを班毎に発表し、振り返りをする。 ○次時の「学習の進め方」見通しに役立てる。

関 連 す る 教科・領域等	4年社会科「郷土を開く」 5年社会科「自然災害を防ぐ」 5年理科「台風と気象情報」「川の流れとそのはたらき」 5年国語「森林のおくりもの」
協 力 団 体	鳥取大学